

月報 シオン山

2023年11月5日発行 (No398)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

見よ、初めのことは成就した。
新しいことをわたしは告げよう。
それが芽生えてくる前に
わたしはあなたたちにそれを聞かせよう。
(イザヤ42章9節)

魔法の言葉「ありがとう」

磯部みゆき

私は西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に勤めています。保育をするにあたって、年間指導計画を立てますが同時にキリスト教保育を土台としていますので、各月でのキリスト教保育主題も設けています。

11月の月主題は「ありがとう」です。この言葉を言うのに少し勇気がある時もあります。その反対に、いろいろとしてもらったことに素直にさっと言える時もあります。「ありがとう」と言われた相手はどんな気持ちでしょうか？もしも腹が立っていても、その言葉を言われると何故か気持ちがおさまったり、相手を許す気持ちになったりしま

す。とても素敵な魔法のような言葉です。

幼稚園では毎日様々な遊びをとおして、日々子どもたちは成長しています。ただ遊んでいるのではありません。子どもたちは自らしたい遊びを見つけて、遊び場で一緒になった子ども同士で会話しながら集中して遊ぶことで学びあっています。でも、毎日みんな仲良く遊んでいるかというところではありません。

満3歳児クラスに線路をつなげて汽車を走らせる木製のおもちゃがあります。二人の男の子が思い思いに線路をつなげていました。いざ汽車を走らせようとするすると先頭の汽車の取り合いになりました。磁石でいくつかの汽車をつなげていくのですが、同じ形で同じ色が二人ともいいようです。その汽車をつかんだA君は、相手のB君から汽車をむりやりはなそうとされ泣いてしまいました。担任はその様子を見て同じ形と同じ色の汽車を探してきてくれてB君に手渡すと、「ありがとう！」と言って嬉しい表情になり、その後は二人仲良く遊びました。

縦割りクラスでは年長児が年少児の手伝いをしてくれる場面をよく見かけます。コップ袋からコップを出すのになかなかうまくだせないCちゃん。その様子に気づいた年長のDちゃんが「してあげようか」というと「うん」とうなずきました。Dちゃんが手伝ってくれてコップが袋から出るとCちゃんはすぐに、「ありがとう！」を言っていました。Dちゃんは照れくさそうな表情で「いいよ」と言い笑顔になっていました。小さいやり取りの中でも、してもらったことなどにすぐに「ありがとう」の感謝の言葉がでることは素敵なことですね。

神さまの教えに『どんなことにも感謝しなさい』とあります。(テサロニケの信徒への手紙5：18)『どんなことにも』に感謝することはとても難しいことではありますが、私は常にどんなときにも心を忘れずにとどめておきたいと努めています。

「ありがとう」という魔法の言葉を大人が正しく使い手本となって関わりながら、子どもたちに素敵な言葉であることを知ってもらい、『どんなことにも』感謝の気持ちをもてる人間に育ってくれたらなと願っています。